【目的】

新型コロナウイルス感染症拡大により、病院の外来患者 数、病床稼働率は大きく変化した。感染症法の位置づけ が5類になり、外来や病棟の患者数の状況はどう変化し たか。医療圏ごと、病棟機能別に分析し、数値として把 握することを目的とする。

(对象)

宮城県内の26日精協支部会員病院

【期間】

2023年5月8日~5月17日、2024年4月1日~4月5日

「内容」

アンケート1回目(2017年度~2022年度) 外来患者数、病棟機能別患者数・稼働病床率 アンケート2回目 (2023年度) 外来患者数、病棟機能別患者数·稼働病床率

[方法]

調査票・公表資料による調査分析、外来は全県、医療圏 ごとで集計。病棟は全県、医療圏ごと、病棟機能別ごと に集計。

2017.4.1~2020.3.31の3年間を「コロナ前」 2020.4.1~2023.3.31の3年間を「コロナ期」 2023.4.1~2024.3.31を「コロナ後」とした。

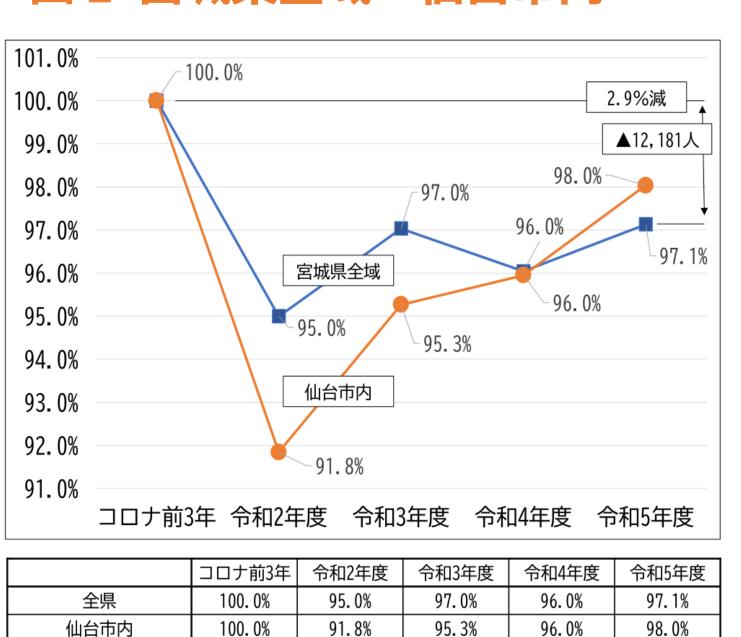
10 C 01

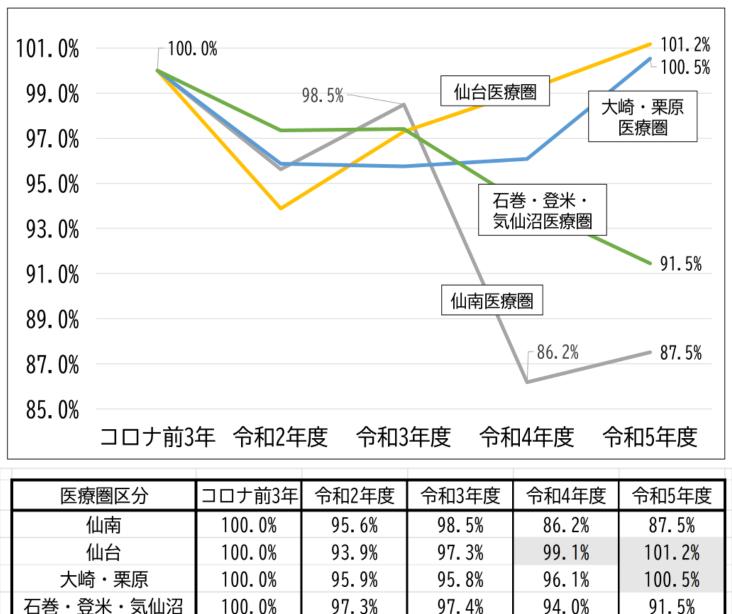
1回目 18病院(回収率72%) 2回目 26病院(回収100%)

【外来患者数の状況】

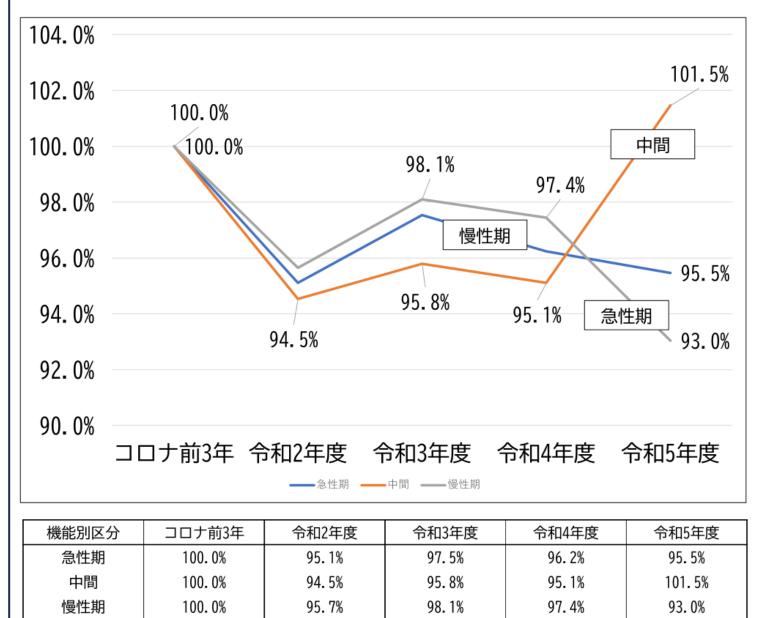
新型コロナウイルス感染症が令和4年5月に感染症法 図 1 上の位置付けが5類感染症になったが、令和5年度の外来患 者数は97.1%で、年間患者数として12,000人程度減少した ままで、コロナ前に戻っていない。

宮城県全域・仙台市内





病院機能別



コロナ後も外来数が戻 らない石巻・登米・気仙沼医 仙南医療圏は、東日本 大震災後に人口減少が進んだ 地域である。

図3 病床回転率 (0.5回転、 1回転で3分類)から病院の機 能を急性期、中間、療養に区 分した時の外来患者数の推移

【入院患者数の状況】

宮城県全域・仙台市内

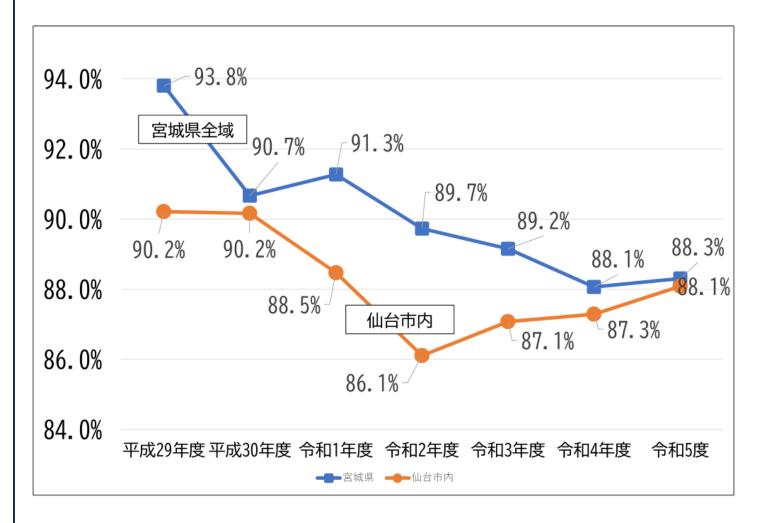
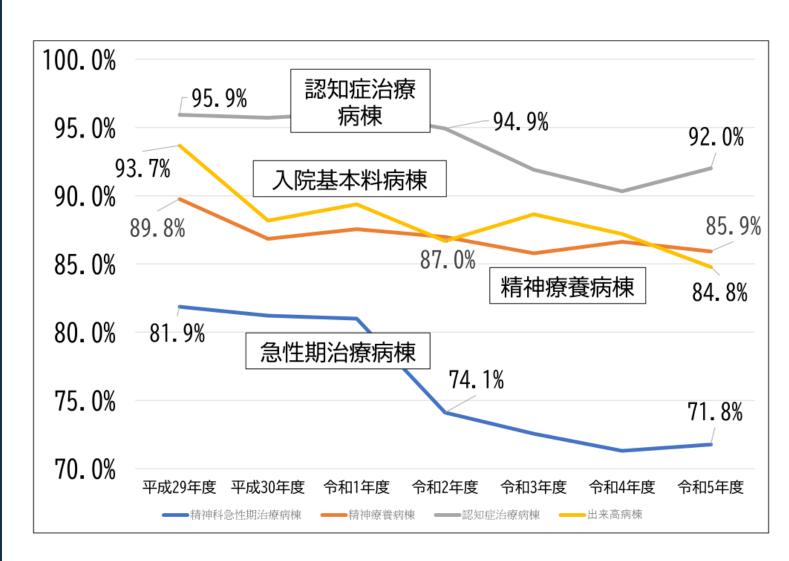


図 5 医療圏別 98.0% 96.3% 石巻・登米・ 気仙沼医療圏 92.0% 92.9% 医療圏 86.3% 86.0%

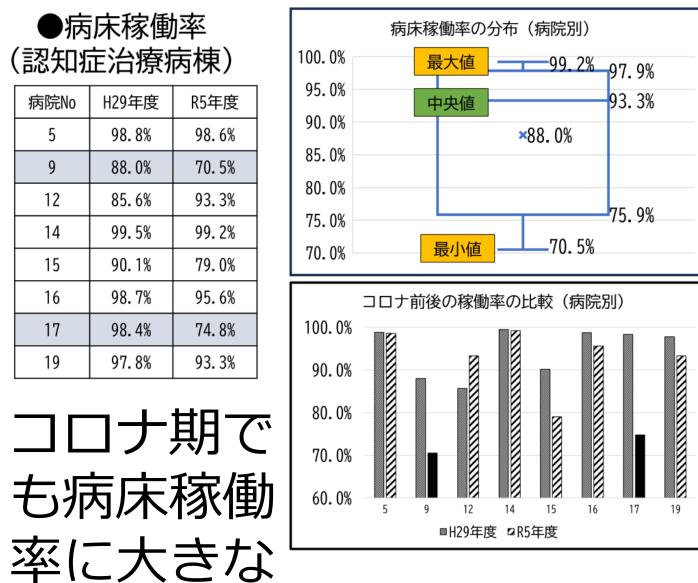
宮城県ではコロナ以前より、病床稼働率の低下 傾向にあり、コロナでその下げ幅が大きくなった。仙台市内 では、コロナ期で大きく落ちたが、コロナ後は幾分持ち直し 医療圏別では仙南医療圏の落ち込みが激しく、コ ロナ後も上昇の気配がない。

図 6 病棟機能別



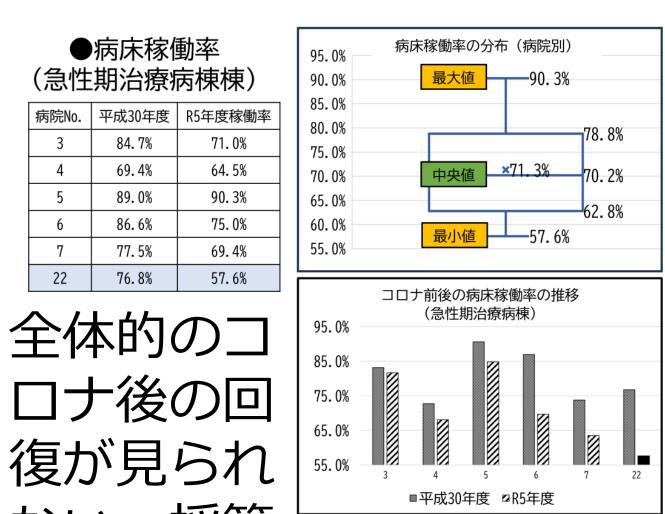
病棟機能別の病床稼 働率の図である。急性期治 療病棟、入院基本料病棟は、 コロナ以前より、10ポイン ト程度低下し厳しい状況に ある。認知症治療病棟は若 干落ち込んだが堅調、精神 療養病棟は横ばいである。

認知症病棟の稼働率



変化がない病院が多いが、 央値から大きく外れている病 院があり、これはコロナに関 係ない要因があるかもしれな

図8 急性期病棟の稼働率



復が見られ ない。採算

割れするような稼働率まで 落ちている病棟も見られる。 以前からの問題がコロナ期 で謙虚になり、解決に至っ てないのではと思われる。

390,000

380,000

370,000

360,000

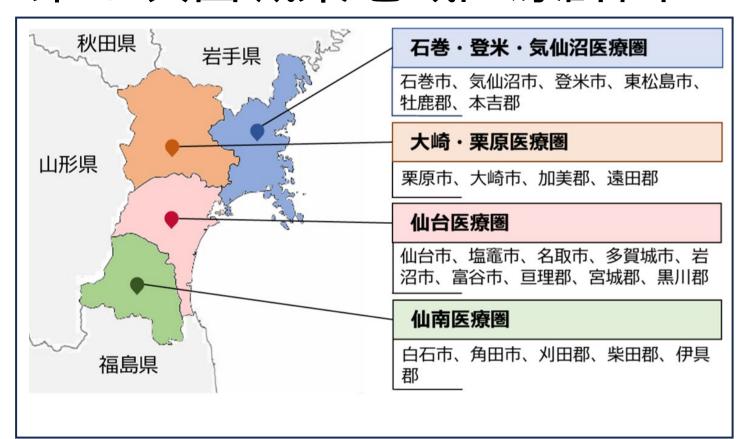
350,000

340,000

330,000

310,000

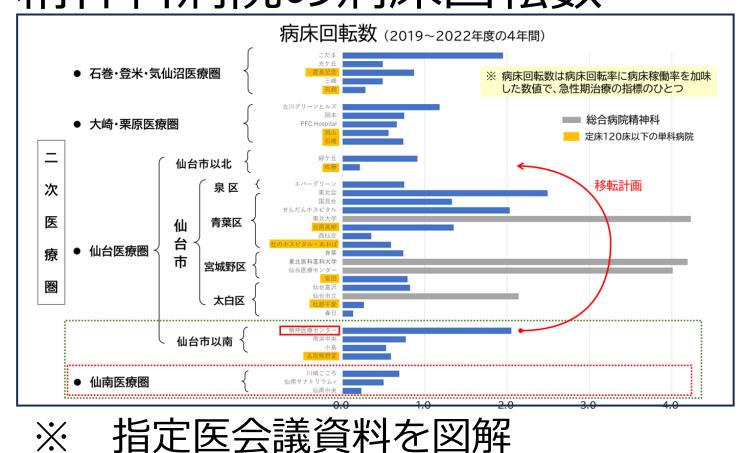
第8次宮城県地域医療計画



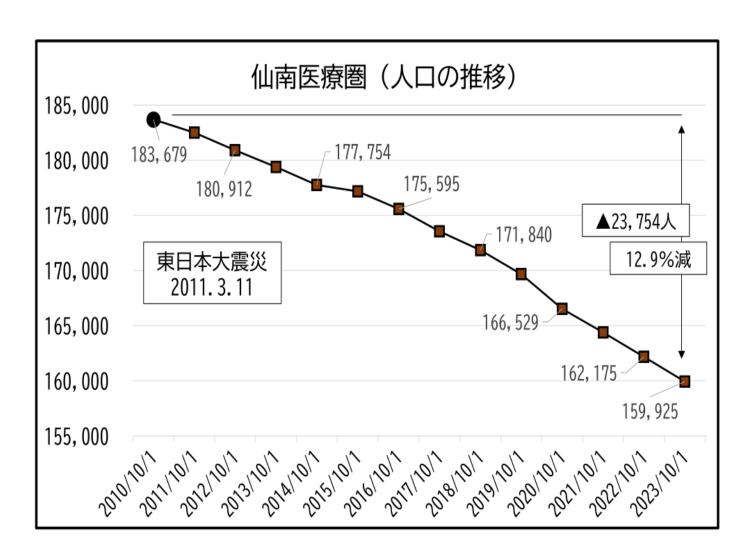
東日本大震災後の人口推移

石巻・登米・気仙沼医療圏(人口の推移)

精神科病院の病床回転数



(岩舘敏晴先生まとめ)



発表者のCOI開示

-388,667

東日本大震災

2011.3.11

発表者:沼田周一 (安田病院)

336, 100 -

330, 230

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等はあ りません。

▲69,336人

17.8%減